

■ 前回の例会記録

第3387回 2023年7月4日(火)

【就任挨拶】

- 会長 岡本 俊則 会員
- ガバナー 池ノ上 克 会員
- 副会長 藺田 潤子 会員
- 幹事 藺田 有美 会員

出席状況報告

会員数(名誉会員2名を除く)	97名
例会出席会員数	74名
同上出席率	76.29%

■ 今回の例会予定

第3388回 2023年7月11日(火)

【5大奉仕委員長就任挨拶】

- クラブ奉仕委員長 藺田 潤子 委員長
- 職業奉仕委員長 川崎 建作 委員長
- 社会奉仕委員長 山田 剛 委員長
- 青少年奉仕委員長 寺原 一種 委員長
- 国際奉仕委員長 山田 俊介 委員長

* 誕生日祝・結婚記念日祝(親睦委員会)

■ 次回の例会予定

第3389回 2023年7月18日(火)

【夜間例会・懇親会】

第1回 夜間例会:宮崎観光ホテル
18:30開始

■ 幹事報告

配布物

- ・クラブ運営方針、カレンダー、週報をポスティングしております。
- ・7月11日第二回クラブ協議会を開催致します。当日は長嶺ガバナー補佐も来られます。
- ・RIテーマバッジ、ネクタイ、ブローチ、地区バッジが配布されておりますがこちらに関しましては後ほど佐藤嘉信地区幹事より説明がございます。
- ・本年度の会員数は、名誉会員2名を除く97名からのスタートです。
- ・本日の例会は委嘱状交付式を実施する関係で結婚誕生祝い等は次週に変更して行います。
- ・ガバナー月信、ロータリーの友の配布、案内も次週に変更して行います。
- ・7月のロータリーレート 1ドル145円です。
- ・例会終了後の理事役員会の開催の案内

委嘱状交付式



■ 会長の時間



会長挨拶

岡本 俊則 会長

皆様 こんにちは宮崎ロータリークラブ第71代会長を仰せつかりました岡本俊則と申します。本日より一年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。

先程からぼんやりと頭に浮かんでいることがあります、17年前の今日7月4日、加賀城年度の第一回の例会日のことです。ご挨拶の際に加賀城会長が今日は私の誕生日でありますとお話された事を思い出していました。いつの間にか加賀城さんが宮崎ロータリークラブ歴代会長の中で最年長となられました。たぶん79歳になられるかと思えます。これからも益々ご指導をお願いしたいと存じます。唐突で申し訳ありませんがお誕生日、本当におめでとうございます。

それから、もう一つ。その数年後、第59代手塚剛一会長年度では池ノ上克現ガバナーが副会長、そして私が幹事でありました。手塚、池ノ上、岡本三人揃ってこの場で就任のご挨拶をさせていただきましたこと、本当に昨日のこのように覚えています。

さて、本日より新たな年度が始まりました。会長の所信(就任挨拶)は後ほどたっぷり時間を頂いておりますので、この時間は私の会長就任の経緯(いきさつ)と副会長と、幹事をお願いした理由について少しお話をさせていただきますと思います。

2年前、池ノ上克ガバナーノミニの誕生と同時に地区幹事、地区財務委員長、いわゆる地区三役の人事が確定をしていく中で、同時進行的にクラブ会長の人事も動いていたようです。「クラブとしてガバナーをお支えする役目はお前が担え!」という“神の声”が何処からともなく降りて参りました。その強大な力には全く抗うことも出来ず、あれよ・あれよという間に今この場に立っている自分がおります。

23年振りに地区大会を主管すると言う大きな役割と、脈々と続く宮崎ロータリークラブの歴史と伝統を守ると言う二つの役目を同時に担うこととなりました。私はこの“光栄”を、与えて頂きました先輩方に心からの感謝を申し上げますと共に、そのご期待に、しっかりと応える事が出来るように精一杯精進して参る所存でございます。

そのためには、私自身をしっかりと支えて下さるであろう、このお二方に副会長・幹事をお願いすることに致しました。まずはクラブ運営の要となる幹事に藺田有美さん。年齢(とし)がわかると後でお叱りを受けるかも知れませ

んが藺田幹事は在籍18年のベテランであります。ロータリーの「いろは」の習得は勿論のこと、洞察力に優れ、人が何を求めているのか?を見極める力があります。また、女将という職業柄、高い“おもてなし”の精神を持ち合わせているとも思っています。この能力はクラブ運営の大切な“場面・場面”で必ず役に立ってくれるだろうと確信をしています。そして何よりも25年来の友人であり私のことを一番上手に扱える人物だと思えます。正に“余人を持って代えがたい人”であります。私は迷いのなく彼女に幹事就任のお願いを致しました。

そして副会長には藺田潤子さん、皆様には既にご周知の通りですが「知性、教養、品格、そして語学力、」どれをとっても当会を代表するにふさわしい人物であり、その卓越した能力をもって、幹事とはまた別な角度から会の運営をしっかりと支えて下さると信じております。お二人は共に、我が宮崎ロータリークラブにとって初の女性副会長、初の女性幹事となります。就任は必然であると思えますが、71年目を迎える我がクラブにとっては実にエポックメイキングな出来事であるとも言えます。

これから一年間、お2人を中心としてスタッフ一同、知恵を出し合いながら、伝統を守りつつ新たな時代に即したクラブ運営を目指して参りたいと考えておりますので、皆様にはご指導ご鞭撻どうぞ宜しくお願い致します。

■ 会長就任挨拶



岡本 俊則 会長

皆様、改めましてこんにちは宮崎ロータリークラブ第71代会長を仰せつかりました。岡本俊則でございます。どうぞ宜しくお願い致します。

いよいよ国際ロータリー第2730地区 池ノ上克ガバナー年度が始まります。

そして同時に宮崎ロータリークラブの71年目が動き始めます。本年度は70年の節目を終え、新たな一歩を踏み出す我がクラブにとって、特別な一年になると思えます。ゴードンマッキナリーRI会長の年度テーマである“Create Hope In The World 世界に希望を生み出そう”を基に池ノ上克 第2730地区 ガバナーは「平和を求め、希望あふれる、明るいロータリーライフを進めよう」を地区のテーマとされました。

平和があってこそ希望は育つ、希望により明るい未来が開けていくという、ガバナーのご意向と共にしっかりとした会の運営に尽力して参りたいと思っています。



私は会長として「居心地がよく・楽しいクラブづくり」を目指していきたくて考えています。居心地が良い環境とはどのようなものでしょうか？同じ趣味や思考を持ったものが集う場所は会話も弾み例外なく楽しい場所だと思いますし、皆が楽しめる場所は間違いなく居心地が良いところだろうとも思っています。

(ものの本)に心地良さと、脳が感じる“やすらぎ”であるとありました。それは実在の環境とは別なものかも知れないなと思っています。例えば自分の仕事に置き換えてみたときに、業務の内容はとてハードであったとしても目標に到達した時に感じる心地良さは何者にも代えられません。しかし、それは一時的なもので数日、場合によっては数時間でまた次の目標に向かって動こうとする自分があります。そう考えると“やすらぎ”を求めて行動できる環境(頑張ることが出来る場所)こそが私にとっての“居心地が良い場所”なのかも知れないなと思っています。

会員の皆様とは親睦会や例会プログラムを通じて楽しみを共有しつつ、各事業に取り組んで参りたいと思っております。各々の取り組みの中でその環境を気持ちよく感じて頂くことが出来ればいいなと願っています。「居心地の良さ」が例会出席率の向上に繋がり、その伝達が会にふさわしい会員の獲得に繋がるよう、そして更には我々の活動がもっとも地域に認知して頂けるように様々な企画を委員会と共に検討して参ります。12月には試みの一つとして地区の財団補助金を活用して、地元の大々イベントとのコラボ事業の実施を予定しています。

具体的には12月10日に開催を予定している宮崎市の一大イベント、皆様ご存じの“青島太平洋マラソン”とのコラボ事業です。宮崎ロータリークラブを(冠)して、ここ3年程行われていなかったアオタイ3Kmの部を復活させて『Let's Run! ジュニアアスリート 目標に向かって!』と題し中・高生を対象とした“トリムマラソン”を実施致します。トリムマラソンとは事前に申告した目標タイムと実際のタイムの時間差を競うもので学年、性別、走力などに関係なく誰にでも優勝の機会があるというものです。

他にも、著名なゲストランナーによるランニングテクニックなどの技術指導や記念撮影なども予定したいと考えています。

勿論、従来からの継続事業も重要であると考えています。クラブが誇る三つのOB会との交流は大きな「楽しみ」の一つであり、同時にロータリーの活動を外部に発信出来る“いい機会”にもなっていると思っています。本年もこれまでに増して更なる各OB会との積極的な関わりを実現して参りたいと考えています。11月18日土曜日にOB懇親会、19日日曜日に会長杯ゴルフコンペと併せて懇親ゴルフ大会を開催します。勿論、例年の通りに東京、大阪、博多の各OB会への訪問参加も実施致します。

そして、川越宏樹実行委員長のもと10月に開催される

国際ロータリー第2730地区の地区大会では我が宮崎ロータリークラブがホストを務めます。姉妹・友好・スポンサーの各クラブにも参加を要請し地区内のいろいろな方々との交流の場を設けていきたくて考えています。池ノ上克ガバナーの所属クラブとして、流石!宮崎ロータリークラブと言われる様にしっかりと責任を果たして参りたいと存じます。

最後に新たな取り組みとして“「持ち味」を知る学ぶ”という新しい委員会を立ち上げました。宮崎ロータリークラブの70年の歴史の中では不要なものは淘汰され、残されてきたものは大切に脈々と受け継がれ、重んじられてきたのだと思っています。今、コロナ禍で発生した会員相互の圧倒的なコミュニケーション不足により、その大切なものが少し失われつつあると危惧をしています。

知るとはどう言うことか?論語にこんな一節があります

“子曰く”「由、女に之を知るを誨んか。之を知るを知ると為し、知らざるを知らずと為す。之を知るなり」

孔子が弟子の由(子路)に言いました。

「子路よ、お前に知ると言うことについて教えよう。わかっていることはわかっている、わからないことはわからない、はっきりとさせること、それが知るといふことだ」と

私はいつも人にもものを探ねられたときこの言葉を思い出します。私の答えは本当に正しい答えなのだろうか?根拠はあるのか?当然自信がある物事はその場で答えられますが、そうでない場合には持ち帰りしっかりと調べて根拠を持って答えるようにしています。つまり知るためには必ず学びが必要だと言う事だと思えます。

“宮崎ロータリークラブの歴史と伝統を未来に繋げる為”に我々の大切なものを会員皆で再度、確認し合いながら、“自クラブの事をよく知り”後世にしっかりと受け継いでいける仕組み作り注力したいと考えています。知るための手法・手段の構想はありますが、ここは担当委員会としっかりと協議の上対応して参りたいと存じます。会員の皆様にはこの委員会活動を通じて色々な事を感じ取って頂きたいと思っていますし、その中で理解できなかった事があるとすれば、自分なりに学んで頂きたいと思っています。結果として古参会員の知識と若手会員の持つ新たな息吹の融合がはかれれば良いなと考えています。

以上の様な内容にて、一年間、自分が出来ることに精一杯取り組みたいと考えておりますので、皆様のご支援ご協力どうぞ宜しくお願い致します。



■ ガバナー 就任挨拶



国際ロータリー第2730地区
2023-2024年
池ノ上 克 ガバナー

国際ロータリー第2730地区のガバナーに就任しました池ノ上克です。どうぞよろしくお願いいたします。先ほど、第2730地区に出向してお仕事をさせていただき宮崎ロータリークラブの皆さまを代表して、川越宏樹地区大会実行委員長に委嘱状をお渡しすることができました。

佐藤嘉信地区幹事の呼びかけで、会場いっぱいになり立ち上がった皆様を拝見して、こんなにも多くの方が第2730地区の運営にご貢献いただくのかと、改めて感激したところです。どうぞよろしくお願いいたします。

今日私が付けているこの色彩豊かなネクタイは、今年度の国際ロータリー会長であるゴードンマッキナリーさんのテーマカラーのものです。「Create Hope in the World:世界に希望を生み出そう」を象徴したものになっています。このネクタイを胸にガバナー職を務めて行きたいと思っています。

ガバナーの仕事は沢山ありますが、早速来週から11月にかけて地区内68クラブへの公式訪問が始まります。しかし多くの宮崎ロータリークラブのメンバーが交代しながら同行していただけますので、頼もしいかぎりです。

年度内に行うビッグイベントであります地区大会についても、先ほど委嘱状をお渡しした後のご挨拶で川越委員長が「がんばります」とおっしゃっていただきました。楽しみにしております。

宮崎ロータリークラブがスポンサーとなって、財団のグローバル補助金を利用した大学院生のイギリスへの留学が、つい先日決定しました。2730地区では20年振りの派遣です。財団委員会を中心にご尽力いただいた結果であり、年度初めの幸先のいい出来事となりました。

ガバナー職は始まったばかりですが、皆様のご支援をいただきながら、この1年間を乗り切りたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

■ 副会長 就任挨拶



蘭田 潤子 会員

皆様、こんにちは。今年度、宮崎ロータリークラブ副会長を、拝命いたしました蘭田潤子でございます。

この一年間、どうぞよろしくお願いいたします。私が、入会いたしましたのは、手塚会長年度です。計算いたしましたら、いつのまにか、12年がたっていてびっくりしております。

長年、フリーランスで仕事をし、組織での経験の薄い私のような人間が、こんなに長く続けていられるのは、宮崎ロータリークラブの居心地が、よかったからに違いありません。

それは、このロータリークラブの先輩の皆様が、永年、活動の中で培ってこられたおおらかで包容力のある空気だと思っています。企業風土という言葉がありますが、きっとクラブ風土、クラブカルチャーが、それぞれのクラブにあるのだと思っています。これからも、宮崎ロータリークラブの岩切章太郎さん以来の良き風土を受け継ぎ、岡本新会長の下、新しい工夫を加えながら、前進していただけたらと思っています。そして、そのサポートが、少しでもできたらと、心をひきしめております。

この12年間、私はいろいろなことを学ばせていただきました。

このクラブの会員の皆様は、それぞれ企業や組織のリーダーでいらっしゃいます。いっしょにお酒を飲む時も、委員会活動をする時も、みんなでイベントを開催する時も、どのように動かれるか、どのようにまとめられるか、拝見しておりました。そのさりげない言動の中に、すごいなと思うことが、たくさんありました。多くの方を知ったのも、宮崎ロータリークラブです。多くのことを学ばせて頂いたのも宮崎ロータリークラブです。けれども、正直に申しますと、ロータリークラブのことは、あまり勉強しないままここまで来てしまいました。今回、副会長をとというのは、あなたも、ロータリークラブをのんびり楽しんでいるだけでなく、少しは勉強して貢献しなさいということかもしれません。

先日、宮崎国際大学の学長で、脳科学がご専門の村上昇先生にお話を伺いました。

脳がご専門の川崎先生も、ここにはいらっしゃいますが、脳の前頭連合野をきたえておくことが、これからのAI時代を生きていくためにも、高齢社会を生き抜くためにも、大切なのだそうです。その鍛え方のひとつが、自分がこれまでやったことのない新しいことに挑戦することだそうです。そしてもうひとつ印象に残ったのは、嫌なこと、面倒なことをやるのも、前頭連合野を鍛えることになるということです。最近では、忘れっぽくなったり、多くのことを同時併行でやるのが苦手になったりと、私も、立派に“老人力”がついております。

そのねじを、ちょっと締めなおして、新しい副会長というお役目に、向かっていきたいと思っています。

今年度は、池ノ上ガバナーを輩出し、10月には、地区大会もひかえております。宮崎ロータリークラブは、いいクラブだねと、参加して下さる他のクラブの方から、思っていたような、そして、何より宮崎ロータリークラブのすべての会員の方が、入ってよかったなと思えるクラブであってほしいと思っています。そのために、経験不足で頼りない副会長ではありますが、できる限りがんばっていきたくて思っています。私のメールアドレスには、kataristという言葉が入っています。もちろん、私が朗読、語りをするからです。でもkataristは、少々、綴りと発音を変えれば、katalyst化学反応の触媒という意味になります。そんな役割が果たせたらいいなあと思っています。お気づきのことがありましたら、いつでもおっしゃってください。そしてご指導のほどを、どうぞよろしくお願いいたします。



■ 幹事就任挨拶



■ 蘭田 有美 会員

宮崎ロータリークラブ71年目という新たなスタート年度に、初めての女性幹事という大役を仰せつかりました。70年間も女性の幹事がいなかったことにも驚きつつさらに緊張感と責任感とよくわからない感情も込み上げている私がここにいます。

気がつけば私も入会18年目となりました。入会当時は次男を出産してすぐだったのだと思います。今年で19歳になります。仕事と子育て中心、皆様に甘えながら息子たちの少年野球にどっぷり浸り、週末の地区大会や地区の行事などほとんど参加することもできませんでした。新年家族懇親会では日之影町の大人神楽をお招きし、神楽を舞っていただいたこともありました。私の子供が最後の天照大神役になったりと子供達と出席したこともありました。懐かしい思い出、私の子育てもロータリーと共にでした。

いつも暖かい方々に見守っていただきながら、あっといふ間の時間が過ぎたのだと今、改めて感じています。

活動方針のご挨拶にも書かせていただいておりますが、この幹事という大役が正直、私にできるのだろうか、1年間、無事に役目を果たせることができるのだろうかお返事をする前までは大変悩みました。

岡本会長からお話をいただいた時には、まだ先も見えないコロナ真只中でした。

「無理はするな、ゆっくり考えればいいから。」と仰っていただいております。真剣に悩む時は本当に口にも出せないものです、私は誰にも話さずずっと考えていました。

コロナで先が見えない毎日、わずかな支援金にわずかな売上、コロナ患者が増えれば減ればのニュースに振り回されながら私にとってロータリークラブの会費どころではない苦しい時期でした。私は本当にここにいても良いのだろうか。と真剣に悩む時期でもありました。

宮崎クラブの方々には、特に助けていただきました。なるべくお店もご利用くださいました。キッチンカーで販売するために駐車場をご提供くださったり、毎週欠かさずキッチンカーに来てくださったあの方は、時々ぼりが倒れていると直して下さったり、慣れないキッチンカー生活を明るく支えてくださいました。

もちろん会長、幹事の皆様や奥様方にも本当に励まし

ていただきました。ここでお一人お一人のお名前を申し上げたいくらいですが、私の心の中にはそんな皆様が応援してくださったことがこのコロナを乗り越えるパワーとなりました。

また、母が所属している南クラブ、西クラブと中央クラブには「宣伝しないよ」と言って卓話よんでいただきました。山形ロータリークラブの榎森会員からは「僕が小戸荘のハヤシを山形で有名にしてあげるからね」とおっしゃってください本当に嬉しく心強かったです。

コロナがなければ気が付かなかった皆さんの優しさやクラブは違えど仲間として迎え入れてくれるロータリークラブの絆に心から感激したものでした。

そんな優しさに支えられ私はどんどん前向きに考えられるようになりました。

宮崎ロータリークラブの皆様のお役に立てるよう頑張ってみよう、そして私を幹事として指名して下さった岡本会長のお気持ちにお応えできるよう、挑戦してみようという一大決心したのでした。

この度、幹事としてご指名して下さった岡本会長とのご縁は25年のお付き合いになります。また音楽つながりでバンドもしています。

「しっかりきっちり西南開発」と社名にキャッチコピーがついているようにそのまま大変真面目で誠実な先輩であります。時に直球で飛んでくる鋭い言葉に何十回か何百回？落ち込んだり、腹が立ったりと倒れ込みそうにもなりましたが、25年も負けずに逞しく立ち向かっていった結果、幹事にご指名いただきました。

もう何十年も経つと遠慮もなくなり仕事のこと、子供の事、全てにおいて口うるさく感じることも多々ありますが、とても感謝しています。岡本会長は、人の気持ちによく気がつく思いやりのある方です。

それでは私のことを少しかだけお話しさせていただきます。

私は昭和46年生まれ、宮崎県庁の裏にある旅館の娘として生まれました。創業74年目となります。毎日のようにマイクロバスが停まっていたから宮崎の一番いい時代だったのかもしれない。

学生時代は吹奏楽にのめり込みクラリネット一筋でした。全国大会に毎年出場する常連校でしたから朝も昼休みも夕方方も必死に練習の毎日でした、全国大会では銀賞をいただきました。しかし中学3年で転校することになり、そこから高校進学と同時にプツンと糸がきれ弾け飛ぶよう元気に遊び始めてしまうのでした。あまりにも行動

力があつたため「こんなに元気ならば他を受験してください」と私の友達関係を調べた先生も変わっていたので忘れもしませんが、母は学校へ度々呼び出されてました。

短大、専門学校を卒業後、出版社に就職し、広告営業をしておりました。社長に直談判して始めることができた私の特集記事は、毎月とても苦労しましたが、とてもやりがいがあり、お客様の商売繁盛に協力できるというその仕事がとても好きでした。

最近では、人前でお話をする「何が言いたいのかわからない」などと時々、言われていますが、実は人や会社、店を取材して記事にすることも楽しく、その経験も手伝って自社ブランドの商品化、PR方法まで大変役に立ち今があります。

そんな経験から見ていると最近気になっているのがやはり宮崎ロータリークラブのイメージです。

歴史と伝統を守りつつ、宮崎クラブの素晴らしいところをもっと発信していくことが大切だなと感じています。つい最近では、地区の補助金で実現できました青島太平洋マラソンの事業については青島太平洋マラソンのホームページのバナーに宮崎ロータリークラブのロゴを入れていただくことができました。宮崎クラブのホームページと同時に上がることで、全国的にも人気の高い青島太平洋マラソンから宮崎ロータリークラブはどんな団体なのか知ってもらえる。当たり前のような流れであります、当たり前な流れを作ることこそが難しいものでこちらは、雑誌IT委員長と連携して現実化していけたら良いと思います。

そしてさらに今年度は池ノ上ガバナーを選出し地区大会を主管するという現会員がほとんど経験のない大きな担いのある年度となります。まずは足元である宮崎ロータリークラブの体制はしっかり整えたものとし、クラブの運営が円滑に参りますよう皆様には色々なアドバイスをいただきながら頑張っていきたいと思っております。

池ノ上ガバナーの誕生により、私もよく地区に足を運ぶことが多くなりました。そして今まで出会わなかったロータリーアンの方とたくさんお話しすることも増えました。

色々なセミナーで池ノ上ガバナーとお会いしますがいつも笑顔で手を振ってくださいます。私はとても嬉しい気持ちになります。

幹事団の皆様、地区大会実行委員会の皆様、いつもお疲れ様でございます。これからがいよいよです。情報を常に共有しながらどうぞよろしくお願い致します。

そして最後になりますが、宮崎ロータリークラブを私なりに「オーケストラ」に例えてみました。

岡本会長は指揮者です、会員の皆様はそれぞれ好きな楽器を。

私は皆様心地よい音楽が奏でられるようステージを整え、空調、照明も調節します。楽器の調子が悪くて困っていらっしゃる方がいれば一緒に修理します。

しかし、私一人では到底この大きなオーケストラに素晴らしい演奏を演出することはできません。音楽の合間には素敵なナレーションを蘭田潤子副会長、力持ちで体も心も大きい長友弘副幹事と黒木勇人副幹事は楽譜も書いてくれます。

このオーケストラの運営費は領家会計がしっかり管理してくださっています。

そして現場監督である吉田SAA、北野副SAA、長友副副SAAは会場の入り口に立ち、オーケストラを見にくる方々が居心地よく過ごせるようお気遣いして下さるでしょう。それぞれの委員長さんたちはパート別に分かれて音合わせもして下さるでしょう。

事務局の首藤さんはいろんな問い合わせに大忙しです。

今日から毎週コンサートです。

私は準備を怠らず、開演時間と終了時間をしっかり守り、皆様が居心地よく心地よく音楽が奏でられますようしっかりサポートして参りたいと思っております。ソロ演奏が時間オーバーの方にはちゃんとベルを鳴らさせていただきます。

至らぬことばかりだと思います、まだまだ時間がかかると思いますが、人の気持ちに気が付く思いやりのある幹事として皆様のお役に立てればと心から願っております。

一年間、どうぞよろしくお願い致します。



■本年度(2023~2024)宮崎ロータリークラブの目標

- ①国際ロータリー第2730地区 地区大会をホストクラブとして開催
- ②池ノ上ガバナーの活動支援
- ③青島太平洋マラソン3キロの部 復活開催
- ④会員数100名以上の堅持と女性会員の増強
- ⑤例会出席率90%以上の確保
- ⑥ロータリー財団寄付一人あたり100ドル以上
- ⑦米山奨学会寄付一人あたり10,000円以上

<会長> 岡本 俊則
<副会長> 蘭田 潤子
<幹事> 蘭田 有美
<会報委員会> 福松 修一郎

■例会日/毎週火曜日(12:30~13:30)
■例会場/宮崎観光ホテル(☎27-1212)



日本の
ひなた
宮崎県

■事務局 宮崎市宮田町13番8号(田崎ビル) TEL:24-4872 FAX:22-0288
URL:https://miyazaki-rc2730.jp E-mail:m-rotary@miyazaki-rc2730.jp